

## しゃぼん玉 だがしや楽校

にちじ：2012年10月28日（日）9:30～11:30

ばしょ：学童保育所しゃぼん玉クラブ・愛宕（山形県米沢市）

主催：特定非営利活動法人 学童保育所しゃぼん玉クラブ

2012年10月28日（日曜日）朝曇り 雨

### 【第4回 しゃぼん玉だがしや楽校】

山形県米沢市で学童保育事業を行っているNPO法人“学童保育所しゃぼん玉クラブ”では、今年（2012年）も“しゃぼん玉だがしや楽校”（しゃぼん玉クラブ 第4回だがしや楽校 雨にも負けず風にも負けず）を開きました。

“しゃぼん玉だがしや楽校”は、2008年に初めて開かれ、翌2009年は“ミニだがしや楽校”を行いました。保護者たちからの要望もあり、2010年には第2回目の“しゃぼん玉だがしや楽校”を開きました。それが好評だったこともあって、昨年（2011年）は第3回目を、そして今回は第4回“しゃぼん玉だがしや楽校”を開くことになりました。

ここで、“しゃぼん玉だがしや楽校”が開かれることになった経緯を、あらためてご紹介します。

放課後の子どもたちを、私たち大人が、あるいは地域として、どのようにして支えていくかはここ数年来、大きなテーマとなっていることは、皆様ご承知のとおりです。これを全国的にみますと、すでに具体的に取り組んでいる地域が数多く見られます。

小学校の一角を放課後の子どもたちの活動の場としている横浜市の“はまっ子ふれあいスクール”もそのひとつです。また、公民館を放課後の子どもたちの活動の場に行っているところもあります。

これまでは、放課後の子どもたちの活動の場として、小学校や公民館が活用されること自体、考えにくいことでしたので、これも時代の流れでしょうか。少子化により廃校に追い込まれる小学校もありますが、その小学校を地域の拠点として、そして放課後の子どもたちの活動の場として利活用する例もあります。

将来は、地域の商店街、NPOセンター・市民活動センター、福祉施設、図書館や文化施設など、あるいは企業などでも、同様の動きが顕著になるかもしれません。

その中で、放課後児童クラブ（学童保育所、学童クラブ）は、長年にわたり放課後の子どもたちを温かく見守ってきました。特に筆者が住んでいる山形県米沢市は、昔から共稼ぎ世帯が多く学童保育所へのニーズは従来から高い地域でした。

加えて、最近の学童保育所は、子どもたちの安全を守るという役割を担うようになってきました。さらに、学童保育所は、地域として子どもたちを育成する上でも、地域づくりの観点でも、ますます存在意義が高まっています。

現在、米沢市には28カ所の学童保育所があります。その内の5カ所を運営しているのが、特定非営利活動法人（NPO法人）学童保育所しゃぼん玉クラブです。

元々“学童保育所しゃぼん玉クラブ”は、米沢市の市街地でも南西側に位置する愛宕小学校区の児童を対象に学童保育事業を始めましたが、学童保育所へのニーズの多様化により、西部小学校区の児童を対象にした2カ所目の学童保育所を開設しました。さらに、西部小学校区の利用児童数の増加により、3カ所目の学童保育所を開設しました。

今年（2012年）は西部小学校区3カ所目、計4カ所目の学童保育所を開設。さらに、米沢市街地の北側郊外に位置する窪田小学校区において、地元保護者からの要望を受け、“学童保育所しゃぼん玉クラブ”としては5カ所目の学童保育所を開設しました。

この間、学童保育所の公益性を自覚し、学区のみならず、地域全体に対して社会貢献することを目的に、学童保育所事業のみを事業内容とする団体としては山形県で初めて、NPO法人となりました。2006年1月のことです。

NPO法人“学童保育所しゃぼん玉クラブ”では、「学童保育所は単に放課後の子どもたちを預かる場所ではなく、地域として子どもたちを育成する一つの拠点であり、子どもたちは地域全体で育成するもの」という考え方を推し進め、地域の方々へ学童保育所への認知を高める活動を行ってきましたが、さらに理解を深めてもらうための活動を模索していました。

そんな中、理事長の奥山さんが“駄菓子屋楽校”（2002年・新評論）と出会います。それから、NPO法人設立時から“学童保育所しゃぼん玉クラブ”をサポートしてきた筆者（山口）からも“だがしや楽校”について学ばれます。

その結果、奥山さんは“だがしや楽校”開催を決断。こうして、2008年に第1回目の“しゃぼん玉だがしや楽校”を開いたのです。

とは言っても、初めての試みで、実際にできるのか、不安な部分もありました。特に指導員の方々に負担をかけるのではないかと、という心配があり、本当に協力体制が構築できるのか、不安だったそうです。

そこで当時の筆者（山口）は、「“だがしや楽校”とは本来、簡単な準備で手軽に開くことができるもの」という“だがしや楽校”の趣旨を伝えました。また、山形県置賜教育事務所が同年開催した“だがしや楽校”をテーマにした“放課後子どもプラン”に関する研修会や、米沢市児童会館で開かれた“だがしや楽校”に指導員の人たちが参加したり、見学したりして、研鑽を積み重ねました。

2008年11月9日、第1回の“しゃぼん玉だがしや楽校”が開かれました。結果は大成功、地域の人たちからも高く評価されました。

その証拠に、5月5日のこどもの日に米沢市児童会館が開かれているイベントの中では、毎年のように、“学童保育所しゃぼん玉クラブ”による“（出張）だがしや楽校”が開かれるようにな

りました。

また、米沢市西部コミュニティセンターにて開かれている“西部コミセン地区文化祭”でも、毎年“だがしや楽校”が開かれるようになりましたが、それも“学童保育所しゃぼん玉クラブ”による“だがしや楽校”です。

このように、米沢市での“だがしや楽校”に於ける“学童保育所しゃぼん玉クラブ”の存在は非常に大きくなっております。

それでは、第4回“しゃぼん玉だがしや楽校”の模様をご紹介します。

昨年に続いて、今年も時より雨が降るといふあいにくの天気となりましたので、開始式は屋内で行いました。

### ◎開始式

午前9時15分から始まった開始式では、はじめにNPO法人学童保育所しゃぼん玉クラブの奥山理事長から「今年も“だがしや楽校”を開くことができ、感謝しています。指導員の先生方、保護者の皆さん、ご協力ありがとうございます。きょう1日楽しくやっていきたいと思ひます」と挨拶がありました。

続いて、米沢市議会議員であり、窪田小学校区に学童保育所を開設するにあたり尽力され、また、お孫さんがしゃぼん玉クラブ・愛宕に通っている小島卓二氏からは「きょうは『ありがとうございます』をたくさん言ひましよう。そして感謝の気持ちを持って1日過ごしましよう」と挨拶がありました。

そして、子ども代表2名より「これからボクたち私たちが楽しみにしてきた“だがしや楽校”をオープンします。懐かしい昔遊びや手作りコーナーなどがあり、おみせ屋さんになったり、遊びの先生になったりして、がんばります。皆さんいっしょに楽しみましよう」と挨拶がありました。このあとは、みんなで“夢をかなえてドラえもん”を歌いました。

最後に、「みんなのお約束」を紹介した子ども代表2名のかけ声で、全員で「エイエイオー！」と氣勢を上げました。



米沢市立愛宕小学校としゃぼん玉クラブ愛宕を結ぶ横断歩道では、ボランティアの保護者の方たちが、安全指導・誘導を行っています。

このような支えがあって“しゃぼん玉だがしや楽校”は開催できました。

なお、“しゃぼん玉だがしや楽校”では、開催時間(9:30~11:30)を4つの時間に区切り、子どもたちが交代でおみせ番をするのですが、おみせ番は大人だけ、子どもたちは全員、遊んだり、買い物を楽しんだりできる時間帯を設けているのも特徴です。



それでは、おみせをご紹介します。はじめに、屋外のおみせです。

#### ▼玉こんにやく

山形のイベントに欠かせないのが山形名物・玉こんにやくです。子どもたちも食べやすいようにダシ醤油を使い、スルメがタップリ入っていて、とても美味しい玉こんにやくです。完売しました。



#### ▼豚汁



“しゃぼん玉だがしや楽校” 定番・豚汁のおみせです。今年は、雨天でしたが、玉こんにやくの脇にお店を構えました。ちょっと肌寒くなった時のあったか〜い豚汁は最高です。

## ▼チョコバナナ



お馴染み“チョコバナナ”のおみせです。Tさんが中心になって、今年も出店しました。今回も大人気で、終了時刻前に見事に完売しました。

そこで登場したのがチョコリンゴ！（右の写真）

恐る恐る食べてみたら、おいしい！！



## ▼飲み物



チョコバナナの隣りが飲み物のおみせです。お茶、ジュース、ラムネのほか、温かいコーヒーも販売しています。

## ▼わたあめ



みんなが大好きの“わたあめ”。今年も子どもたちが順番に“わたあめ”を作っています。こちらも大人気で、終了時刻を過ぎても、子どもたちが取り囲んでいました。

## ▼八百屋さん



しゃぼん玉クラブに通う児童のお家が八百屋さんということで、八百屋さんも出店しました。新鮮な野菜から、カットリンゴやリンゴジュースがよく売れていました。

続いて、屋内のおみせをご紹介します。

## ▼新聞紙コマ



新聞紙を使ってクルクル回るコマを作っています。初めてご紹介する遊びです。学童保育所しゃぼん玉クラブでは、新たな遊びの提案も行っています。

## ▼輪投げ



輪投げは“しゃぼん玉だがしや楽校”では欠かせない遊びのひとつです。簡単なようで難しいのが輪投げです。小さなお子さんから高学年の子どもたちまで楽しく遊んでいます。輪が入った分だけ、駄菓子をゲットできます。オツと、まとめて輪を投げるお子さんも！

## ▼木エクラフト



米沢市愛宕コミュニティセンターのセンター長であり、NPO法人学童保育所しゃぼん玉クラブの理事でもある我妻さんによる木エクラフトのおみせです。



木材を使って、顔の形やいろいろな形を作ります。多くの子どもたちが集いました。

## ▼昔遊び



けん玉やめんこなど昔遊びを体験するおみせです。“しゃぼん玉だがしや楽校”では毎回“昔遊び”のおみせが出ています。けん玉では、大人の皆さんも真剣に遊んでいました。



## ▼コルクストラップ



コルクを使ってストラップを作るという初めてご紹介のおみせです。ビーズなどでカラフルにしています。



## ▼駄菓子屋&クジ引き



今年も“しゃぼん玉だがしや楽校”の駄菓子屋さんは大繁盛。子どもたちだけでなく、保護者や指導員の人たちが交代でおみせ番です。

上の写真右は、クジで特賞が出た瞬間です。特賞はチョコバナナです。

練習が終わったスポ少の子どもたちが“しゃぼん玉だがしや楽校”にやって来ました。そして好きなモノを選んでいました。(下の写真右)





午前9時30分からの“しゃぼん玉だがしや楽校”は、予定より少しのびて午前11時45分頃お終いになりました。このあとは、みんなで餅つきです。これも“しゃぼん玉だがしや楽校”恒例です。

◎餅つき



おとうさんたちががんばった後は、子どもたちが順番に餅つきしました。



ついたお餅は、納豆餅・あんこ餅・きなこ餅にして、みんなで食べました。

こうして楽しく過ごした“しゃぼん玉だがしや楽校”は無事に終了しました。



#### 《振り返り》

“しゃぼん玉だがしや楽校”ではいつも思うのですが、子どもたちだけではなく、保護者のおとうさん・おかあさんも、指導員も、全員が、時には遊び、時にはお仕事をしながら、いっしょになって楽しんでいることが、とても印象的です。これが本当の全員参加です。

遊びのおみせも毎年工夫されています。

このような素晴らしい“だがしや楽校”を開くことができるのも、普段の活動がしっかりしているからです。

見事な“しゃぼん玉だがしや楽校”でした。

この日は、学童保育所しゃぼん玉クラブ愛宕が中心になって“だがしや楽校”を開催しましたが、翌週（11月3日）には、学童保育所しゃぼん玉クラブ西部が中心になって“しゃぼん玉だがしや楽校@西部コミセン地区文化祭”を開きます。

企画・制作・編集・文責

山口充夫

だがしや楽校コーディネーター

おきたまラジオNPOセンター